

命のバトンを引き継ぐために

部活動や長距離走の練習のとき。試合に出ているとき。突然、心臓や呼吸が止まってしまった……。そのような時、命を救うために、そばに居合わせた人ができる応急手当が救命処置。その時、私たちが命を救うために何ができるのでしょうか。



AEDとは

〔Automated External Defibrillator〕
自動体外式除細動器

心臓が止まる原因のひとつである、心臓がブルブルと細かく震える「心室細動」を取り除く(除細動)電気ショックを行うための機器。コンピュータが自動で心室細動かどうかを調べ、電気ショックが必要かを決定し、音声で指示してくれるので、誰でも簡単に確実に操作できる。

光陵中学校の生徒が受講した普通救命講習

③呼吸の確認

1秒、2秒、3秒…

②助けを呼ぶ

誰か来て!

①反応確認

大丈夫ですか?

④胸骨圧迫

30回ね。1、2、3…

⑤人工呼吸

気道確保、呼吸2回…

⑥心肺蘇生法の継続
(④と⑤の繰り返し)

⑦AEDの使用

貼るのは、ここだな…

誰も触っていないのを確認して、ボタンを押すのね。

実際に講習を受けると、色々と細かいところまでわかりました。分かりやすく教えてくれるので、皆さんも受けてみてください。

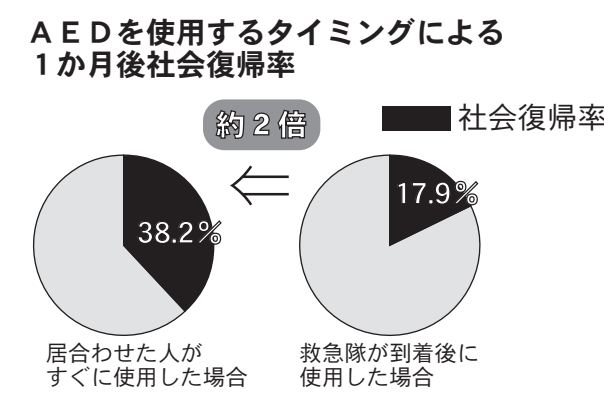
想像していたほど難しくなかったです。自分でも操作を覚えれば簡単に使えることがわかりました。中学生でも大丈夫です!

光陵中学校 2年生
工藤沙耶さん

光陵中学校 2年生
安藤日南さん

命を救うために必要なこと

病気などで、心臓や呼吸が停止している人に対して、救急隊が到着するまでの間、胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返す心肺蘇生法やAEDを使った救命処置を行うことで、その人の命を救う、さらには社会復帰が早まるという結果が出ています。突然の心停止のうち、救急隊が到着するまで、AEDを使用しなかった時と、居合わせた人がすぐに使用した時の、社会復帰率は約2倍です。



身につけるには…

では、救命処置はどのように身につければ良いのでしょうか。救命処置は、岩見沢消防署の救急隊が出向く普通救命講習で、AEDの使い方を含めて学ぶことができます。職場やサークルなど、5人以上の人数がまとまれば講習を行っています。また、救急の日の毎月9日に、個人の方を対象とした、普通救命講習も行っています。詳しくは、お問い合わせください。

若いうちから…

光陵中学校の2年生が保健体育の授業の一環として、普通救命講習で救命処置を学びました。教科書では学ぶことができない、実技を交えた講習の様子を取材してみました。取材して感じたのは、実際に人の命を助ける技術と知識をいかに伝えるかは少ないということ。普通救命講習は、一度の受講で修了証をもらうことができず、学んだ救命技能を忘れないためにも、繰り返し講習を受けることが大切です。

どうにもなる…

さて、救命処置において重要な役割を担うAED。市は、市民の皆さんの生命を守り、安全・安心なまちづくりを推進するため、AED設置施設の登録制度を設け、施設の間所や有用性などを市民の皆さんに公表しています。

現在、市内の設置登録施設は、公共施設をはじめ150か所以上あり、そこには、「岩見沢市AED設置施設ステッカー」と「イワくんAEDシール」が貼ってあります。

設置登録施設は、市ホームページで確認してください。



問合先
救命処置は、岩見沢地区消防事務組合消防本部警防課(6東1) ☎22局4302
AEDは、岩見沢保健センター(10西3) ☎25局5540